

平成 19 年（2007 年）の三宅島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

2007 年の活動概況

- ・噴煙など表面現象、火山ガスの状況（図 1、図 3 - 、表 3）

噴煙高度は火口縁上概ね 100～300m で推移しました。

山頂火口からの二酸化硫黄放出量は増減を繰り返しながら一日あたり概ね 1 千～3 千トンで推移し、依然として多量の火山ガス放出が続きました。

- ・火口及び山体内の熱の状況（図 2、図 5、表 1）

1～6 月に繰り返し実施した上空からの観測では、山頂火口内の地形や、火口及びその周辺の地表面温度分布¹⁾に特段の変化はありませんでした。

また、地磁気連続観測²⁾では、短期的には火山体内部の熱の状態に大きな変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) 山頂火口の北側（三宅島 A 点）で全磁力値が増加（図 5 で上向きの変化）、南側（三宅島 A 点以外の観測点）で減少（図 5 で下向きの変化）の変化がみられた場合は、火山体内部で温度上昇があったと考えられます。

- ・地震や微動の発生状況（図 4 - 、図 5、表 3）

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続きました。6 月 19 日、9 月 1 日には、振幅の大きな高周波地震（波形例は図 8 参照）が発生し、島内で震度 1 を観測しました。5 月 18 日には、振幅のやや大きなやや低周波地震（波形例は図 8 参照）が発生し、島内で震度 1 を観測しました。2 月 17 日、3 月 31 日、5 月 27 日、9 月 13 日には、空振³⁾を伴う振幅のやや大きな低周波地震⁴⁾（波形例は図 8 を参照）が発生することがあり、島内で震度 1 を観測しました。

火山性地震の震源はほとんどが山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

3) 噴火などで発生した空気の急激な圧力変化が大気中を周囲に伝わる現象。

4) 周期の長い波を特徴とした地震。三宅島では、空振を伴う低周波地震が発生した場合には、山頂火口から火山灰噴出を伴うことがあります。

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

・地殻変動の状況（図 8）

GPS 連続観測によると、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら、継続しました。

三宅島 2007 年に発表した火山情報

発表日時	情報番号	内容
毎週金曜日 (第18号は5月8日 火曜日に発表) 16時30分 定期的に発表	火山観測情報第1号 火山観測情報第25号	最近の火山活動評価、火山活動の状況(噴煙・火山ガス・地震) 定期的な発表は6月22日の第25号をもって終了。

2007 年の噴火予報及び噴火警報の発表状況

発表日時	噴火警報または噴火予報	活動状況及び予報警報事項
12月1日 10時00分	噴火警報（火口周辺危険）	火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られない。

注) 平成 19 年 12 月 1 日より噴火警報及び噴火予報の発表を開始し、それに伴い従来の緊急火山情報、臨時火山情報及び火山観測情報は廃止しました。



図 1 三宅島 山頂火口からの噴煙の状況

2007 年 9 月 20 日：山頂火口東側から撮影、坪田（三宅島空港）遠望カメラによる。

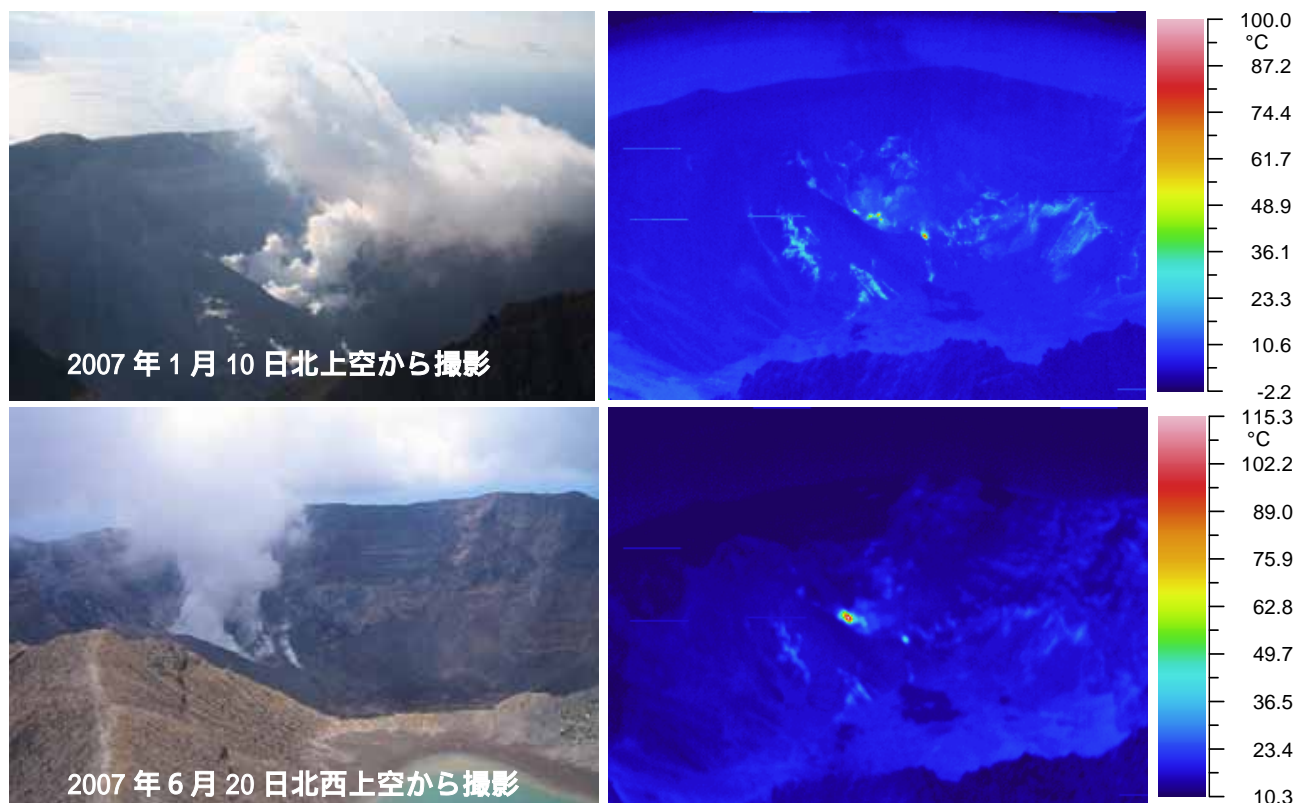


図 2 三宅島 山頂火口南側内壁の主火孔周辺の状況及び地表面温度分布³⁾

表 1 2007 年に実施した上空からの観測結果

観測実施日	協力機関	火口内の状況	火口内の温度分布の状況
1月10日	東京消防庁	主火孔の噴煙と周辺の地形等に特に変化なし	特に変化なし
2月7日	海上自衛隊	主火孔の噴煙と周辺の地形等に特に変化なし	特に変化なし
3月7日	警視庁	主火孔の噴煙と周辺の地形等に特に変化なし	特に変化なし
4月26日	警視庁	主火孔の噴煙と周辺の地形等に特に変化なし	特に変化なし
6月20日	航空自衛隊	主火孔の噴煙と周辺の地形等に特に変化なし	特に変化なし

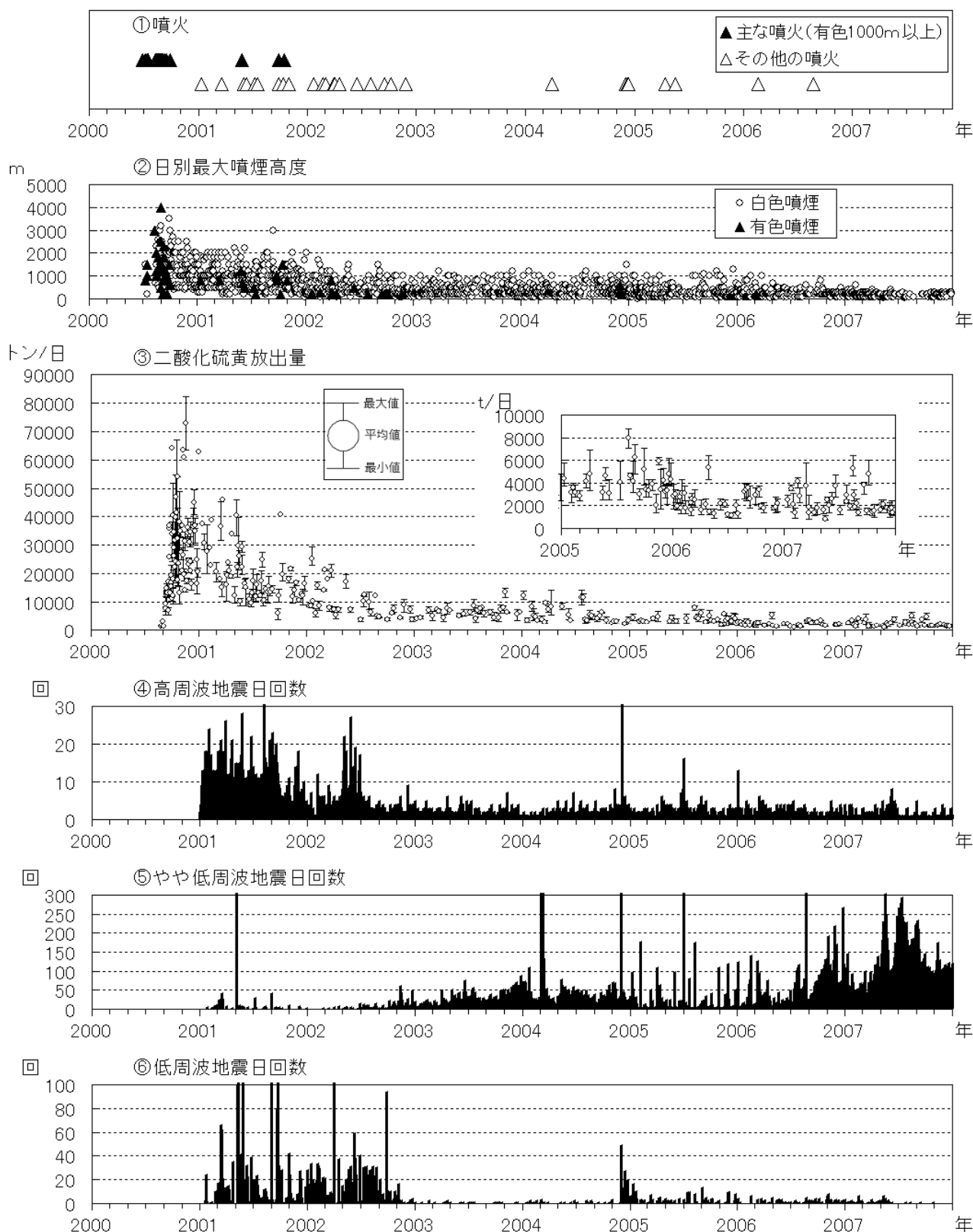


図 3 三宅島 最近の火山活動の推移 (2000 年 1 月 ~ 2007 年 12 月)

：観測は陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、東京消防庁及び警視庁の協力による
 ：地震の種類別 (図 8 参照) に計数を開始した 2001 年 1 月 1 日からのデータを掲載

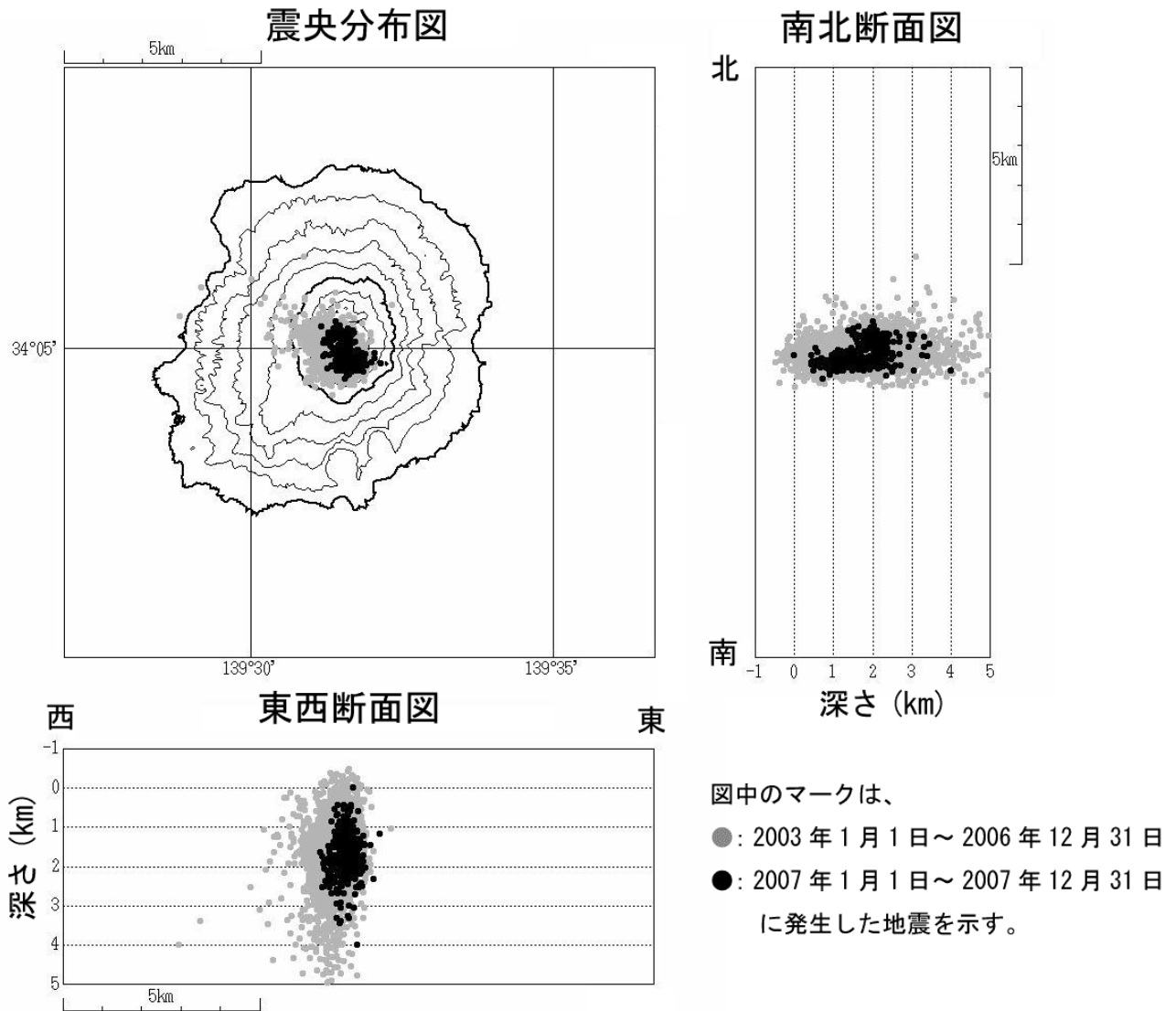


図 4 三宅島 火山性地震の震源分布 (2003 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日)

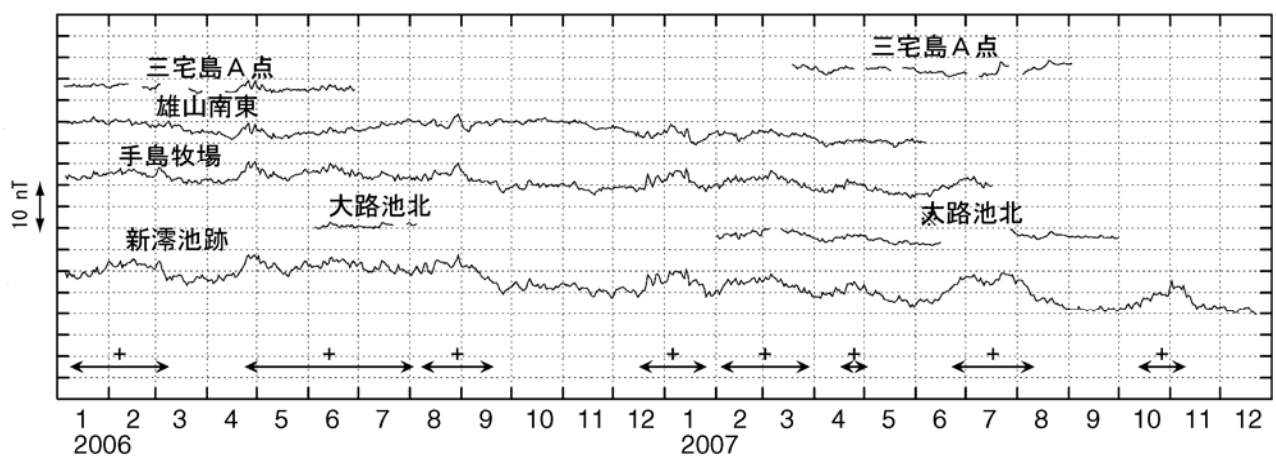


図 5 三宅島 全磁力連続観測による全磁力値の変化⁴⁾ (2006 年 1 月 1 日 ~ 2007 年 12 月 31 日)

↔で示した期間の全磁力値は三宅島周辺の海流の影響を受けていると推測されます。

nT (ナノテスラ) は磁場の強さを表す単位です。

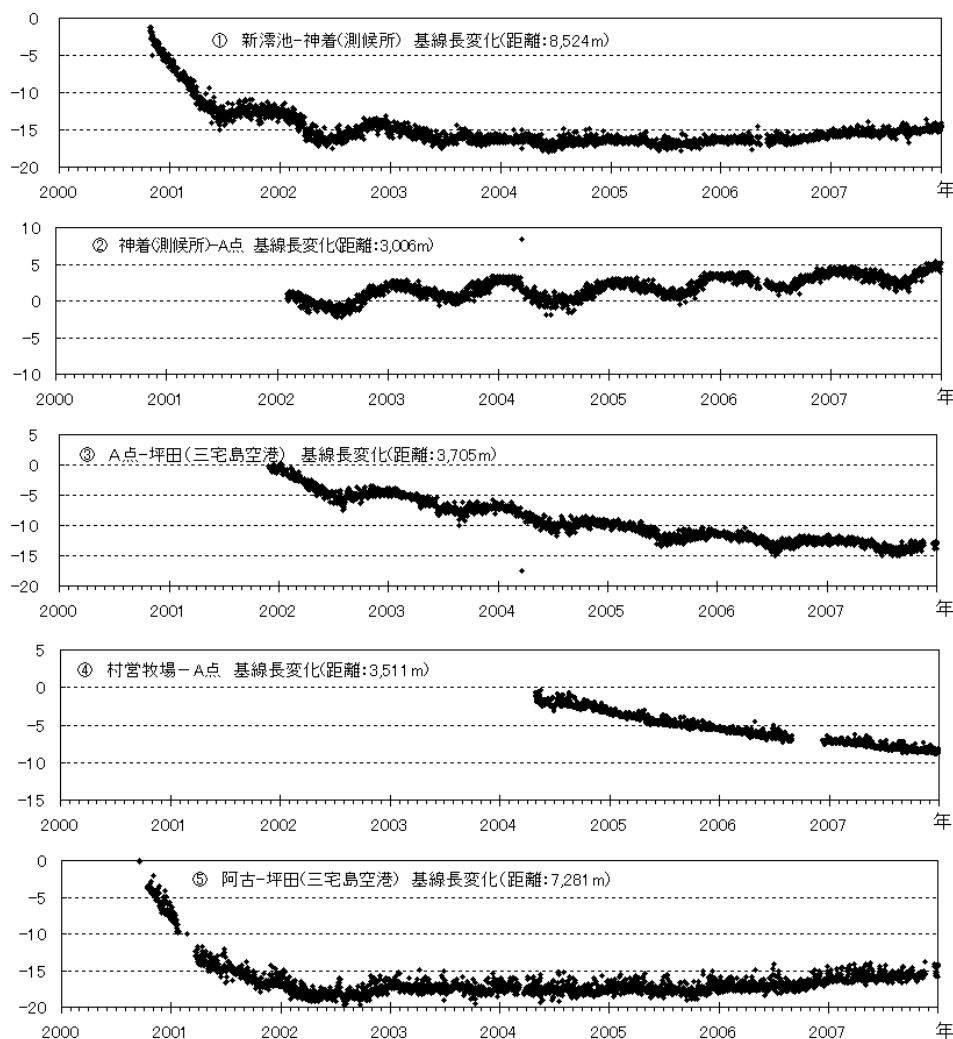
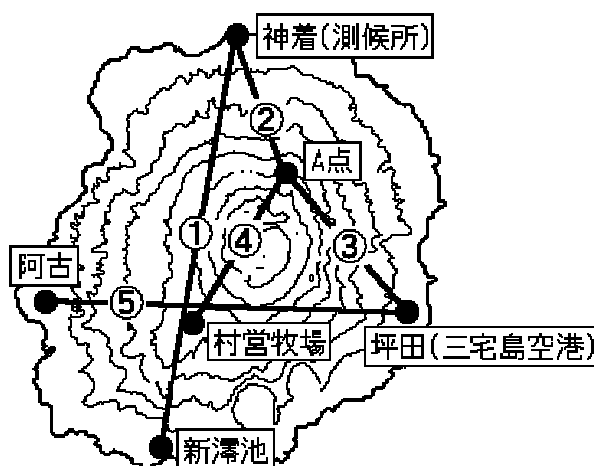


図 6 三宅島 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 3 月 ~ 2007 年 12 月)
 基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ~ は図 7 の GPS 基線 ~ に対応しています。



国土地理院 数値地図
 50mメッシュ (標高) 使用

図 7 三宅島 GPS 連続観測点配置図

表 2 三宅島 2001 年以降の噴火リスト注)

	日時	噴煙			震動波形	空振	備考
		高さ	色	流向			
2001	1	01/01/11 10:38	800	灰白色	東	不明	
	2	01/03/19 06:48	800	灰白色	南西	低周波地震	07:40頃まで継続。前日午後は低周波地震群発状態
	3	01/05/27 05:05	×(雲)	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	4	01/05/27 06:04	1,200	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	5	01/06/03 06:34	700	灰白色	南東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	6	01/06/10 19:25	500	灰白色	東	低周波地震	あり
	7	01/06/13 02:29	×(雲)		(東)	低周波地震	あり 空港カメラに火山灰が少量付着。
	8	01/06/24 20:12	×(雲・夜)		(西)	低周波地震	あり 翌朝の現地調査で、自動車に灰混じりの雨が降ったあとを確認
		01/06/24 22:34	×(雲・夜)		(西)	低周波地震	
	9	01/07/10 06:38	500	灰白色	南西	低周波地震	
	10	01/07/10 08:23	500	灰白色	南西	低周波地震	
	11	01/07/18 17:42	×(雲)	灰白色	北東	低周波地震	あり
	12	01/09/26 11:32	1000	灰白色	東	低周波地震	
	13	01/09/27 21:28	1000	灰白色	北西	低周波地震	あり 22:15頃まで継続。都道沿いで降灰確認(どちらのイベントによるものかは不明)
	14	01/09/27 23:04	800	灰白色	北西	低周波地震	あり
	15	01/09/28 05:28	800	灰色	北東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	16	01/10/11 03:34	×(雲)			微動	あり 都道沿いで降灰確認
	17	01/10/11 09:02	100未満	灰白色	東	なし	火口縁に降灰するのを確認
	18	01/10/16 07:22	1500	灰色	北西	微動	あり 都道沿いで降灰確認
19	01/11/01 12:32	800	灰白色	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認	
2002	1	02/01/23 12:34	200	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	02/02/21 17:37	300	灰白色	東北東	低周波地震	あり 都道沿い(サタドー岬付近)で降灰確認
	3	02/03/02 05:53	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり
	4	02/03/02 06:12	×(雲)	灰白色	北西	低周波地震	あり
	5	02/03/31 06:03	800	灰色	北東	微動	あり 都道沿いで降灰確認
	6	02/04/02 10:02	300	灰白色	東	低周波地震	あり 都道沿い(空港付近)で降灰確認
	7	02/04/03 10:41	200	灰白色	北東	低周波地震	あり
	8	02/04/16 06:00	×(雲)		北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	9	02/06/15 16:19	500	灰白色	北東	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	10	02/08/01 17:42	×(雲)		東	微動	あり 都道沿い(三池港)で降灰確認
	11	02/09/16 05:10	×(雲)		南西	不明	都道沿いで降灰確認
	12	02/10/08 14:51	200	灰白色	東	なし	空港カメラに火山灰が少量付着
	13	02/11/24 13:16	×(雲)		南～南西	低周波地震	都道沿いで降灰確認
2004	1	04/11/30 07:46	300	灰色	東	低周波地震	あり 空港カメラに火山灰が少量付着
	2	04/12/02 16:45	600	灰色	南西	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	3	04/12/7 15～ 04/12/8 06	×(夜間)		(東)	低周波地震	あり 8日朝に火口東3kmの地点で降灰確認 7日17時～8日06時に発生した低周波地震に伴うと思われる
	4	04/12/09 06:16	×(雲)		(西南西)	低周波地震	あり 小手倉カメラに火山灰が付着
2005	1	05/04/12 04:45	×(雲)		(南西)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	05/05/18 02:41	200	白色	(北)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
2006	1	06/2/17 22:38～ 06/2/17 23:34	300	白色	(東～ 東南東)	低周波地震	あり 都道沿いで降灰確認
	2	06/08/23 04:28	500 700	灰色 白色	南東	低周波地震	あり 空港カメラで灰色の噴煙を確認 島南東部の都道沿いで降灰を確認

注)遠望カメラで有色噴煙を観測したもの、又は山麓で降灰を確認したものに限り。

表 3 三宅島 2007 年の火山活動状況

1月	噴火回数	火山性地震回数 ⁵⁾			微動回数	噴煙の状況 ⁶⁾		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	8	0	0	×	×	
2日	0	0	45	0	0	200	1	
3日	0	0	61	0	0	×	×	
4日	0	2	71	0	0	300	1	
5日	0	1	65	0	0	200	1	
6日	0	0	45	1	0	200	×	
7日	0	0	24	0	0	×	×	
8日	0	0	109	0	0	—	—	
9日	0	0	86	0	0	200	1	
10日	0	1	101	1	0	100	1	
11日	0	0	145	0	0	200	1	
12日	0	0	61	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,900~2,900 トン/日
13日	0	1	30	1	0	100	1	
14日	0	1	61	0	0	300	2	
15日	0	1	59	0	0	400	2	
16日	0	1	13	0	0	100	1	
17日	0	4	24	0	0	×	×	
18日	0	0	43	0	0	300	2	
19日	0	1	29	0	0	200	1	
20日	0	0	55	0	0	×	×	
21日	0	1	37	2	0	×	×	
22日	0	4	24	0	0	×	×	
23日	0	3	14	1	0	400	2	
24日	0	0	75	1	0	400	2	
25日	0	0	92	0	0	300	1	二酸化硫黄放出量 3,300~3,800 トン/日
26日	0	3	89	0	0	200	1	
27日	0	0	68	0	0	200	1	
28日	0	0	23	1	0	100	1	
29日	0	1	57	0	0	200	1	
30日	0	1	29	1	0	300	1	
31日	0	0	10	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,500~3,100 トン/日
合計	0	26	1653	9(0)	0			

2月	噴火回数	火山性地震回数 ⁵⁾			微動回数	噴煙の状況 ⁶⁾		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	35	0	0	200	1	
2日	0	0	30	0	0	200	1	
3日	0	1	38	0	0	200	1	
4日	0	0	39	0	0	—	—	
5日	0	0	43	0	0	200	1	
6日	0	3	52	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 900~1,800 トン/日
7日	0	0	23	1	0	600	2	
8日	0	0	22	0	0	200	1	
9日	0	1	16	0	0	200	1	
10日	0	1	13	0	0	200	1	
11日	0	0	37	0	0	100	1	
12日	0	0	53	1	0	—	—	
13日	0	1	22	0	0	200	1	
14日	0	0	21	0	0	100	1	
15日	0	0	22	0	0	—	—	
16日	0	1	46	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 3,600~4,500 トン/日
17日	0	1	27	6(2)	0	×	×	
18日	0	0	17	0	0	×	×	
19日	0	0	22	0	0	100	1	
20日	0	1	53	0	0	×	×	
21日	0	1	67	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 2,300~3,600 トン/日
22日	0	1	38	0	0	200	1	
23日	0	1	55	0	0	×	×	
24日	0	2	28	0	0	100	1	
25日	0	0	30	0	0	100	1	
26日	0	0	63	2	0	×	×	
27日	0	0	19	0	0	300	1	
28日	0	3	31	0	0	200	1	
合計	0	18	962	10(2)	0			

3月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		噴煙高度(m)	噴煙量	
1日	0	0	57	1	0	200	1	
2日	0	2	29	0	0	×	×	
3日	0	0	58	0	0	300	1	
4日	0	0	38	0	0	200	1	
5日	0	3	32	0	0	100	1	
6日	0	0	37	0	0	100	1	
7日	0	1	64	0	0	×	×	
8日	0	1	71	0	0	100	1	
9日	0	1	68	0	0	100	1	
10日	0	0	99	0	0	300	2	
11日	0	0	37	0	0	—	—	
12日	0	2	34	0	0	—	—	
13日	0	0	35	0	0	100	1	
14日	0	1	28	0	0	300	1	二酸化硫黄放出量 2,200~5,800トン/日
15日	0	0	24	0	0	200	1	
16日	0	0	30	0	0	×	×	
17日	0	0	31	0	0	×	×	
18日	0	2	34	0	0	200	1	
19日	0	0	37	1	0	300	2	
20日	0	0	35	0	0	200	1	
21日	0	1	44	0	0	200	1	
22日	0	1	71	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,900トン/日
23日	0	2	66	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 800~2,900トン/日
24日	0	0	58	0	0	200	1	
25日	0	1	30	0	0	×	×	
26日	0	0	53	0	0	200	1	
27日	0	1	43	0	0	200	1	
28日	0	2	30	1	0	100	1	
29日	0	1	91	0	0	×	×	
30日	0	0	96	0	0	100	1	
31日	0	0	34	3(1)	0	×	×	
合計	0	22	1494	6(1)	0			

4月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	1	48	1	0	×	×	
2日	0	2	63	0	0	100	1	
3日	0	0	48	1	0	×	×	
4日	0	0	73	0	0	100	1	
5日	0	0	76	0	0	400	1	
6日	0	0	75	0	0	300	1	
7日	0	0	68	0	0	200	1	
8日	0	1	73	0	0	200	1	
9日	0	1	67	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,100~1,800トン/日
10日	0	2	47	0	0	200	1	
11日	0	1	93	0	0	100	1	
12日	0	1	72	1	0	200	1	
13日	0	4	44	0	0	200	1	
14日	0	0	116	0	0	100	1	
15日	0	2	35	0	0	100	1	
16日	0	1	45	0	0	×	×	
17日	0	0	93	1	0	×	×	
18日	0	2	51	0	0	×	×	
19日	0	0	40	0	0	—	—	
20日	0	2	70	0	0	300	2	二酸化硫黄放出量 1,200~2,300トン/日
21日	0	2	57	0	0	×	×	
22日	0	1	48	0	0	×	×	
23日	0	1	83	1	0	×	×	
24日	0	0	137	0	0	200	1	
25日	0	0	101	0	0	×	×	
26日	0	0	109	0	0	100	1	
27日	0	1	98	2	0	200	1	
28日	0	0	76	1	0	×	×	
29日	0	1	87	0	0	200	1	
30日	0	1	57	0	0	—	—	
合計	0	27	2150	8	0			

5月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	2	25	0	0	100	1	
2日	0	3	80	1	0	×	×	
3日	0	2	103	2	0	200	1	
4日	0	0	122	1	0	×	×	
5日	0	0	117	0	0	×	×	
6日	0	3	146	1	0	×	×	
7日	0	5	62	1	0	×	×	
8日	0	1	97	1	0	100	1	
9日	0	0	182	0	0	-	-	
10日	0	0	174	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,300~2,000 トン/日
11日	0	0	229	0	0	50	1	
12日	0	2	80	6	0	100	1	
13日	0	1	147	4	0	×	×	
14日	0	0	177	0	0	100	1	
15日	0	1	175	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 700~1,100 トン/日
16日	0	0	222	1	0	200	1	
17日	0	0	302	0	0	×	×	
18日	0	1	238	3	0	100	1	
19日	0	1	202	0	0	100	1	
20日	0	0	246	0	0	200	1	
21日	0	3	198	0	0	100	1	
22日	0	0	169	0	0	200	1	
23日	0	0	180	2	0	100	1	二酸化硫黄放出量 2,300~2,800 トン/日
24日	0	1	184	1	0	200	1	
25日	0	4	138	0	0	×	×	
26日	0	4	152	0	0	100	1	
27日	0	2	136	2	0	-	-	
28日	0	1	5	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,400~2,700 トン/日
29日	0	0	14	0	0	×	×	
30日	0	0	14	1	0	×	×	
31日		3	15	0	0	×	×	
合計	0	40	4331	27	0			

6月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	2	23	0	0	×	×	
2日	0	2	102	0	0	200	1	
3日	0	2	91	0	0	200	1	
4日	0	2	90	0	0	200	1	
5日	0	6	41	0	0	400	2	
6日	0	4	50	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 2,100~3,200 トン/日
7日	0	1	60	0	0	×	×	
8日	0	8	66	0	0	300	2	
9日	0	1	51	1	0	×	×	
10日	0	5	79	0	0	100	1	
11日	0	4	106	0	0	×	×	
12日	0	1	79	0	0	200	1	
13日	0	1	93	0	0	×	×	
14日	0	2	114	0	0	×	×	
15日	0	1	75	0	0	×	×	
16日	0	0	88	0	0	100	1	
17日	0	4	112	0	0	200	1	
18日	0	0	136	0	0	×	×	
19日	0	2	130	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 2,800~4,700 トン/日
20日	0	1	117	0	0	200	1	
21日	0	1	175	0	0	×	×	
22日	0	3	130	0	0	×	×	
23日	0	1	164	0	0	-	-	
24日	0	1	66	0	0	-	-	
25日	0	0	166	0	0	×	×	
26日	0	0	177	0	0	×	×	
27日	0	3	184	0	0	×	×	
28日	0	2	198	0	0	×	×	
29日	0	1	245	0	0	×	×	
30日	0	0	207	0	0	×	×	
合計	0	61	3415	1	0			

7月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	1	141	0	0	×	×	
2日	0	0	137	0	0	×	×	
3日	0	0	205	0	0	×	×	
4日	0	1	267	0	0	×	×	
5日	0	0	259	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,200～2,000トン/日
6日	0	0	232	0	0	200	1	
7日	0	0	206	0	0	×	×	
8日	0	0	198	0	0	×	×	
9日	0	1	191	0	0	×	×	
10日	0	0	208	0	0	×	×	
11日	0	0	279	0	0	×	×	
12日	0	0	255	0	0	×	×	
13日	0	0	293	0	0	×	×	
14日	0	1	263	0	0	×	×	
15日	0	0	203	0	0	×	×	
16日	0	0	239	0	0	300	2	
17日	0	0	180	0	0	×	×	
18日	0	0	228	0	0	×	×	
19日	0	1	205	0	0	×	×	
20日	0	0	211	0	0	×	×	
21日	0	0	186	0	0	×	×	
22日	0	0	159	0	0	×	×	
23日	0	0	190	0	0	50	1	
24日	0	0	181	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 2,200～2,500トン/日
25日	0	0	200	0	0	×	×	
26日	0	0	184	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 2,300～3,500トン/日
27日	0	0	155	1	0	100	1	
28日	0	3	228	0	0	200	1	
29日	0	2	190	0	0	—	—	
30日	0	0	164	0	0	100	1	
31日	0	3	149	0	0	×	×	
合計	0	13	6386	1	0			

8月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	179	0	0	×	×	
2日	0	0	140	0	0	×	×	
3日	0	0	149	0	0	×	×	
4日	0	0	133	0	0	×	×	
5日	0	0	145	0	0	×	×	
6日	0	0	167	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,600～2,200トン/日
7日	0	0	85	0	0	×	×	
8日	0	0	93	0	0	×	×	
9日	0	1	95	1	0	×	×	
10日	0	0	88	0	0	×	×	
11日	0	0	104	0	0	200	1	
12日	0	0	93	0	0	×	×	
13日	0	0	84	0	0	×	×	
14日	0	0	106	0	0	×	×	
15日	0	0	184	0	0	×	×	
16日	0	0	141	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 4,600～6,400トン/日
17日	0	0	128	0	0	—	—	二酸化硫黄放出量 2,400～3,400トン/日
18日	0	1	61	0	0	×	×	
19日	0	0	98	0	0	—	—	
20日	0	0	131	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,600～2,200トン/日
21日	0	1	185	0	0	×	×	
22日	0	0	177	0	0	×	×	
23日	0	0	139	0	0	100	1	
24日	0	0	103	0	0	×	×	
25日	0	1	178	0	0	×	×	
26日	0	2	99	0	0	×	×	
27日	0	0	151	0	0	×	×	
28日	0	0	220	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,900～2,600トン/日
29日	0	0	149	0	0	×	×	
30日	0	0	186	0	0	×	×	
31日	0	1	152	0	0	×	×	
合計	0	7	4143	1	0			

9月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	5	223	0	0	×	×	
2日	0	0	224	0	0	×	×	
3日	0	1	120	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,100~1,700トン/日
4日	0	1	107	0	0	×	×	
5日	0	0	232	0	0	×	×	
6日	0	0	57	0	0	×	×	
7日	0	0	209	0	0	×	×	
8日	0	0	127	0	0	×	×	
9日	0	0	151	0	0	×	×	
10日	0	1	133	0	0	×	×	
11日	0	1	153	0	0	×	×	
12日	0	0	154	0	0	×	×	
13日	0	0	121	1(1)	0	×	×	
14日	0	0	103	0	0	×	×	
15日	0	0	85	0	0	×	×	
16日	0	0	68	0	0	×	×	
17日	0	0	66	0	0	×	×	
18日	0	0	66	0	0	×	×	
19日	0	0	65	0	0	×	×	
20日	0	0	91	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 3,000~4,100トン/日
21日	0	2	72	0	0	×	×	
22日	0	0	44	0	0	200	1	
23日	0	0	69	0	0	×	×	
24日	0	1	126	0	0	×	×	
25日	0	2	>10	0	0	×	×	欠測あり(欠測期間03:20~16:00)
26日	0	0	>40	0	0	×	×	欠測あり(欠測期間07:00~17:00)
27日	0	0	132	0	0	×	×	
28日	0	0	141	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,200 ~1,800トン/日
29日	0	0	145	0	0	×	×	
30日	0	0	69	0	0	×	×	
合計	0	14	>3403	1(1)	0			

10月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	79	0	0	×	×	
2日	0	2	16	0	0	×	×	
3日	0	1	30	0	0	×	×	
4日	0	0	36	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 3,800~6,000トン/日
5日	0	0	47	0	0	×	×	
6日	0	0	65	0	0	200	1	
7日	0	0	61	0	0	200	1	
8日	0	0	84	0	0	×	×	
9日	0	0	74	0	0	×	×	
10日	0	1	112	0	0	×	×	
11日	0	0	106	0	0	×	×	
12日	0	0	79	0	0	×	×	
13日	0	1	90	0	0	100	1	
14日	0	0	50	0	0	×	×	
15日	0	0	71	0	0	×	×	
16日	0	0	110	0	0	×	×	
17日	0	0	66	0	0	×	×	
18日	0	0	54	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,100~1,700トン/日
19日	0	0	18	0	0	×	×	
20日	0	1	51	0	0	100	1	
21日	0	0	51	0	0	100	1	
22日	0	0	52	0	0	300	2	
23日	0	0	61	0	0	100	1	
24日	0	0	98	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,000~2,100トン/日
25日	0	1	69	0	0	×	×	
26日	0	2	65	0	0	×	×	
27日	0	1	51	1	0	×	×	
28日	0	0	93	0	0	100	1	
29日	0	1	59	0	0	300	1	
30日	0	0	74	0	0	100	1	
31日	0	0	51	0	0	×	×	
合計	0	11	2023	1	0			

11月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	78	0	0	200	1	
2日	0	3	78	0	0	300	1	
3日	0	0	71	0	0	×	×	
4日	0	2	75	0	0	200	1	
5日	0	0	65	0	0	200	1	
6日	0	1	101	0	0	×	×	
7日	0	0	56	0	0	200	1	
8日	0	1	128	0	0	200	1	
9日	0	0	118	0	0	200	1	
10日	0	1	109	0	0	×	×	
11日	0	1	117	0	0	×	×	
12日	0	1	174	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,400~2,100 トン/日
13日	0	0	118	0	0	200	1	
14日	0	0	92	0	0	×	×	
15日	0	0	70	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,700~2,500 トン/日
16日	0	1	51	0	0	×	×	
17日	0	0	58	0	0	200	1	
18日	0	1	129	0	0	—	—	
19日	0	0	84	0	0	100	1	
20日	0	0	84	0	0	×	×	
21日	0	0	74	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,800~2,500 トン/日
22日	0	0	69	0	0	—	—	
23日	0	0	103	0	0	100	×	
24日	0	1	78	0	0	300	2	
25日	0	1	68	0	0	300	2	
26日	0	0	44	0	0	300	2	
27日	0	0	84	0	0	200	1	
28日	0	4	96	0	0	×	×	
29日	0	0	95	0	0	×	×	
30日	0	0	88	0	0	×	×	
合計	0	18	2655	0	0			

12月	噴火回数	火山性地震回数5)			微動回数	噴煙の状況6)		備 考
		高周波地震	やや低周波地震	低周波地震(空振あり)		日最高(m)	噴煙量	
1日	0	0	72	0	0	200	1	
2日	0	0	70	0	0	—	—	
3日	0	3	60	0	0	100	1	
4日	0	0	87	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,400~2,000 トン/日
5日	0	0	109	0	0	200	1	
6日	0	0	117	0	0	×	×	
7日	0	0	101	0	0	—	—	
8日	0	0	72	0	0	×	×	
9日	0	1	93	0	0	×	×	
10日	0	0	58	0	0	300	2	
11日	0	0	71	0	0	300	2	
12日	0	0	90	0	0	200	1	二酸化硫黄放出量 1,000~1,600 トン/日
13日	0	1	71	0	0	200	2	
14日	0	1	114	0	0	100	1	二酸化硫黄放出量 1,400~2,300 トン/日
15日	0	0	98	0	0	×	×	
16日	0	0	97	0	0	×	×	
17日	0	1	110	0	0	×	×	
18日	0	0	120	0	0	×	×	二酸化硫黄放出量 1,200~2,400 トン/日
19日	0	0	70	0	0	×	×	
20日	0	1	56	0	0	—	—	
21日	0	0	62	0	0	300	1	二酸化硫黄放出量 1,100~1,900 トン/日
22日	0	0	91	0	0	×	×	
23日	0	0	70	0	0	×	×	
24日	0	0	107	0	0	300	1	
25日	0	3	59	0	0	300	1	
26日	0	0	80	0	0	×	×	
27日	0	0	44	0	0	300	1	
28日	0	0	52	0	0	200	1	
29日	0	0	36	0	0	200	1	
30日	0	1	74	0	0	×	×	
31日	0	1	119	0	0	—	—	
合計	0	13	2530	0	0			

表 3 の注釈

5) 火山性地震の計数基準は A 点振幅で $8\text{ m}\mu/\text{s}$ 以上、S - P 時間 3 秒以内です。低周波地震回数欄にある括弧内の数値は、空振を伴った低周波地震の回数を示しています。火山性地震の種類は以下のとおりです。

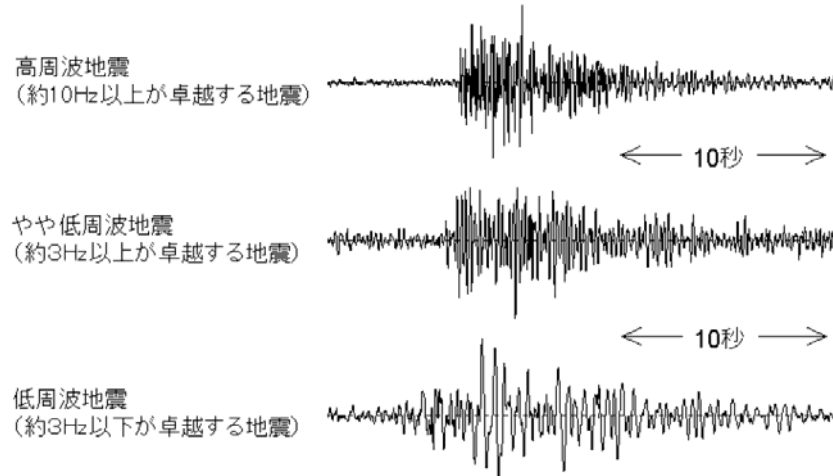


図 8 三宅島 主に発生している火山性地震の特徴と波形例

6) 噴煙の高さ及び噴煙量は定時観測(09 時・12 時・15 時)の日最大値です。噴煙量は以下の 7 階級で観測しています。

- 1 : 極めて少量 2 : 少量 3 : 中量 4 : やや多量 5 : 多量 6 : 極めて多量
- 7 : 噴煙量 6 以上の大噴火で、噴煙が山体を覆う位に多く噴煙の高さは成層圏まで達したと思われるもの
- : 噴煙なし x : 不明

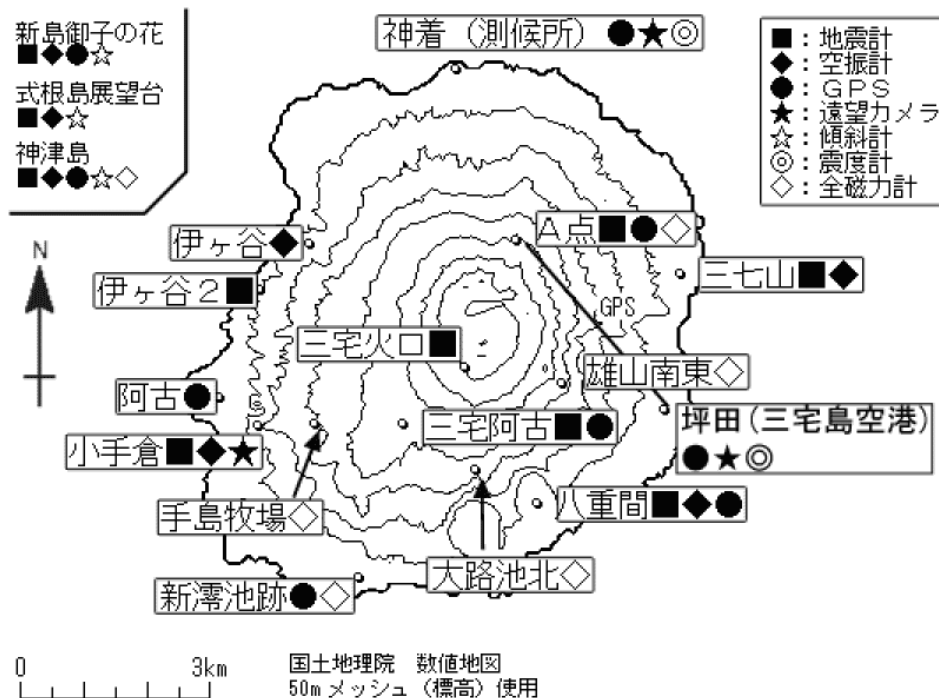


図 9 三宅島 気象庁の観測点配置図 (小さな白丸は観測点位置を示しています)

表4 三宅島 気象庁の観測点一覧表

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	三宅A点	34° 05.9'	139° 32.0'	527	0	1995.11.21	短周期 3成分
	伊ヶ谷2	34° 05.5'	139° 29.2'	112	0	2004.5.14	短周期 3成分
	小手倉	34° 04.3'	139° 29.2'	192	0	2004.5.13	短周期 3成分
	八重間	34° 03.6'	139° 32.2'	61	0	2004.5.12	短周期 3成分
	三七山	34° 05.6'	139° 33.7'	37	0	2004.5.13	短周期 3成分
	三宅火口	34° 04.8'	139° 31.4'	687	0	2004.3.27	短周期 3成分
	三宅阿古	34° 04.3'	139° 30.8'	470	0	2004.4.16	短周期 3成分
	新島御子の花	34° 21.8'	139° 15.5'	41	0	2000.8.5	短周期 3成分
	式根島展望台	34° 19.5'	139° 13.5'	23	0	2000.12.21	短周期 3成分
	神津島背負崎	34° 13.2'	139° 08.0'	14	0	2001.2.8	短周期 3成分
震度計	神着(測候所)	34° 07.4'	139° 31.3'	36	0	1992.4.1	
	坪田(三宅島空港)	34° 04.4'	139° 33.5'	23	0	2000.6.28	
空振計	三七山	34° 05.6'	139° 33.7'	37	2	2004.5.13	
	八重間	34° 03.6'	139° 32.2'	61	2	2004.5.12	
	小手倉	34° 04.3'	139° 29.2'	192	2	2004.5.13	
	伊ヶ谷	34° 05.9'	139° 29.8'	135	2	2000.7.9	
	新島御子の花	34° 21.8'	139° 15.5'	41	2	2000.8.5	
	式根島展望台	34° 19.5'	139° 13.5'	23	2	2000.12.21	
	神津島背負崎	34° 13.2'	139° 08.0'	14	2	2001.2.8	
傾斜計	新島御子の花	34° 21.8'	139° 15.5'	41	-15	2000.8.5	
	式根島展望台	34° 19.5'	139° 13.5'	23	-7	2000.12.21	
	神津島沼尻	34° 13.2'	139° 08.0'	30	2	2001.2.8	
GPS	三宅A点	34° 05.9'	139° 32.0'	527		2001.11.29	1周波
	神着(測候所)	34° 07.4'	139° 31.3'	36		2000.10.13	1周波
	坪田(三宅島空港)	34° 04.4'	139° 33.6'	18		2004.3.6	1周波
	新瀨池跡	34° 02.9'	139° 30.3'	35		2004.3.6	1周波
	阿古	34° 04.5'	139° 28.8'	34		2004.3.6	1周波
	八重間	34° 03.6'	139° 32.2'	61		2004.3.20	1周波
	三宅阿古	34° 04.3'	139° 30.8'	470		2004.3.20	1周波
	新島御子の花	34° 21.8'	139° 15.5'	41		2001.3.9	2周波
	神津島沼尻	34° 13.2'	139° 08.0'	30		2001.3.9	2周波
遠望 カメラ	坪田(三宅島空港)	34° 04.4'	139° 33.5'	23	8	2000.12.7	高感度
	小手倉	34° 04.3'	139° 29.2'	192	60	2001.8.10	高感度
	神着(測候所)	34° 07.5'	139° 31.3'	36	8	2003.2.20	高感度
	三宅火口	34° 04.8'	139° 31.4'	701	0	2004.3.29	高感度(休止中)
全磁力計	三宅A点	34° 05.9'	139° 32.0'	527		2002.1.24	
	雄山南東	34° 04.7'	139° 32.4'	454		2003.2.25	
	大路池北	34° 03.9'	139° 31.5'	348		2001.2.20	
	手島牧場	34° 04.3'	139° 29.8'	252		2001.2.22	
	新瀨池跡	34° 03.0'	139° 30.2'	12		2001.2.22	
	神津島基準点	34° 12.6'	139° 08.9'	190		2001.2.18	基準点